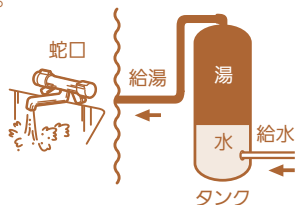


温水器の仕組み

温水器の基本原則

● 自動給水・押し上げ方式です

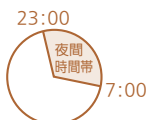
蛇口をひねると、タンク内のお湯は給水水圧によって押し上げられ、タンク上部の給湯口より給湯配管を通して自動的に採湯することができます。使用したお湯の分だけの水が、給水口より水道水圧を利用して自動的にタンクに供給されますので、タンク内は常にお湯(水)で満たされています。



● 主に、夜間にわき上げを行います

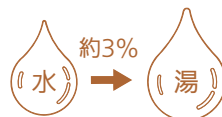
主に夜間時間帯にタンク内のお湯をわき上げます。

※ご契約の電力契約によって時間帯は異なります。



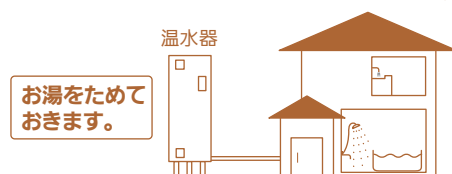
● 水は体積膨張します

水がお湯になると必ず体積膨張を起し、約3%増加します。例えば、370Lの温水器では、約11L分増えます。この増えた分を逃す目的で逃し弁が取付けられます。わき上げ中に逃し弁からお湯が少しずつ排水されるのは、故障ではありません。正常な動作です。



● タンク貯湯式です

わき上げたお湯をタンクに貯湯し給湯を行います。そのため、タンク内のお湯を使いすぎると湯切れする(お湯がなくなる)ことがあります。



説明には、角形タイプ温水器の図を使用しています。

非常時にもお湯が使えます

地震などの万一の災害時は、タンクのお湯(水)を生活用水として利用できます。

【角形タイプ】

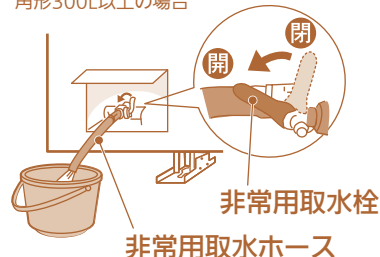
温水器の非常用取水栓から水を取り出します。

(機種により取水方法は異なります。手順の詳細は取扱説明書を参照ください。)

【丸形タイプ】

温水器の排水栓から水を取り出します。

角形300L以上の場合



警告

● 給湯(取水)・排水時は、熱湯が出ることもあるのでお湯に触らない(やけどの原因)

よくあるご質問

説明には、角形タイプ温水器の図を使用しています。

①お湯を使っていたら、水が出てきた

湯切れです。温水器は、貯湯式のため1日に使用できるお湯の量は限りがあります。

②浴槽の水が青く見える

光の波長の関係や浴槽の色などによって浴槽の水が青く見えることがあります。また、配管(銅配管)から溶出したわずかな銅イオンと湯あかが反応してできた銅石けんによって浴槽などが青くなる場合があります。浴槽や洗面台はよく洗ってください。青い線が付きにくくなります。

④逃し弁の排水口からお湯(水)や湯気が出る

わき上げ中は、お湯が少しずつ排水されます。

③電源を「入」にしてもお湯が出ない

設置直後の使い始めなど、タンク内が水の状態で電源を「入」にしてもすぐにお湯は使用できません。タンク全体がわき上がるまで約8時間^注かかります。

注.タンク全体のわき上げ時間は、タンク容量によって異なります。

お湯がぬるい場合

- 温水器でわき上げたお湯を、湯水混合栓で水と混ぜて使います。実際に蛇口やシャワーで使うお湯の温度は、温水器でわき上げたお湯の温度よりもぬるく(低く)なることがあります。
- お湯がぬるい場合は、湯水混合栓の温度調節つまみを設定したり、止水栓を調整して温度を調節してください。

止水栓の調整方法は、お使いの湯水混合栓の取扱説明書をご確認ください。

